牛房　良嗣　議員

高齢者の安心と健康を守るための三つの提言

牛房　**提言1**　「役場内に困りごと相談室を設置し困ったり心配ごとがあったら直ぐに電話し解決できるような体制を作って頂きたい」高齢者の身のまわりには不安、心配ごとが一杯、その上高齢者を狙った犯罪も多発。

提言2　「高齢者の読みやすい専門のニュース紙を作り月一回配布する」高齢者とつながるニュース紙は孤独感を取り除き町や地域の人がそばにいるという安心感を与える、高齢者へは心の配慮、心の安心を提供することが最も大事なこと。

町長　高齢者の心のケア面に配慮した提言については検証し、やれるところから取組んでいきたい。

牛房　**提言3**　「運動に汗を流す高齢者へ万歩計の貸与を」毎日万歩計の記録をとり、半年、一年後に運動の効果を検証し健康診断と併せて健康づくりに役立てる。

特にウォーキング、ゲートボール、グランドゴルフ等々に参加されている高齢者には是非万歩計を。

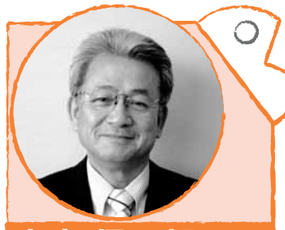
健康課長　ご提案の万歩計については貸与の方向で進めたいと考えている。

竪坑櫓周辺の町有地を整備し町民グランドに

牛房　櫓周辺の町有地を整備し、町民グランドとして活用して頂きたい。

町長　真剣に考え、ご提言もふくめて今後の活用について前向きに考えたい。

写真　町民グランドへ整備を



古庄　信一郎　議員

行財政改革策（アウトソーシング、PFI、構造改革特区、指定管理者制度、市場化テスト）の検討と推進を

古庄　アウトソーシングは、費用対効果、職員の意識改革と真の行政サービスが目的。

構造改革特区は廃校を利用した不登校児童特区や認知症高齢者の安心お泊り特区。

20人学級特区や幼稚園早期入園特区など全国800件に及び、町づくりへの思いのバロメーター。

積極的に検討すべき。

町長　住民サービス、質の低下をしないよう考え、検討し進めて行く。

古庄　アンケートでは、73％の自治体が指定管理者制度導入指針を策定している。住民の目から見た対象施設の検討も大事であり、指定管理者制度選考委員会等の設置を早急に検討すべき。

町長　有識者の知恵も入れながら公共性、公平性を確保できるか検討しながら立ち上げる。

住民協働の地域づくりにはNPOボランティアの育成が大事

古庄　18年度、国の完全NPO予算は548億円で関連予算は数千億円。

また福岡県もNPO提案活用事業を展開している住民協働の町づくりにはNPO、ボランティア団体の存在が重要な要点となるが育成についてどう考えているのか。

町長　行政に参画頂き、お力をお借りし施策を進めて行くうえで期待するところ大。

写真　志免町行財政改革

大熊　則雄　議員

シーメイトの安全問題

大熊　グランドの出入口の鎖やポールが盗まれているのになぜ修理しないのか。

町長　担当課より報告いたします。

福祉課長　予想もしない事件があったわけです。早速に館長が志免交番に盗難届を出しております。6ヶ所のポールの穴が、危険でありましたので3月2日に応急処置をいたしておるところです。

大熊　看板がくずれているのに修理はまだか。車がぶつけてばらばら、雨風が吹き看板もあれだけのプラスチック製が飛んで行ったら車だと弁償だし、撤去するなら最初からつける必要がない。

税金の無駄使いと思うが。

企画財政課長　看板だけでちょっと判断ができないですが、管理上からここは志免町の土地ですよという事で幾つか看板を立てておるところがあります。

竪坑の保存にむけての考え方

大熊　私はこれは無償譲渡とは思わない。

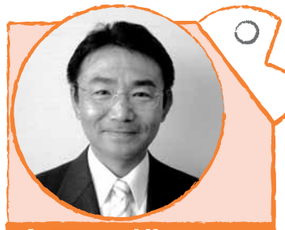
46年間NEDOが重荷になり志免町に残した訳で、解体費をもらっているのなら私は無償譲渡になったと思う。

町長　お金を出さないでプラス・マイナスのゼロで無償でというところでございます。

大熊　これ迄、年間固定資産税が入っていた。無償譲渡した場合、固定資産税は入らないが。

地域振興課長　確かに固定資産税が年間二百何万円が入ってきておりました。

写真　総合福祉施設シーメイト



吉田　耕二　議員

9年間をひとまとめとした教育の推進を

吉田　18年度の主要施策の中に小中連携を強め教育内容、方法をより良いものにしていくとある。

その施策として小中連携推進委員会が設置されたと思うが、その委員会の目的、内容についてお伺いする。

学校教育課長　東中学校校区を地教委の指定校として研究を行うということになっている。

小中学校のスムーズな接続を図り、学力向上を目的とし、あと一点は成長保障について協議していくことになっている。

吉田　例えば宗像市において、同じく小中一貫教育の調査研究が行われている。

小中学校の6・3制はそのままにしながら、児童、生徒の発達段階に応じ前、中、後期3区分に分けた取り組みがされてある。

教育活動を充実させるためにも、このような制度に関しても議論する必要があるのではないか。

学校教育課長　宗像市は文科省の研究指定ということになっている。

志免町はそれと内容を同一にしながら、どのような形で中学校の先生や小学校の先生が行き来できるかを考えながら、いろんな研究をしていく。

吉田　義務教育の範囲を変えることはできないが、やり方、質を変えることは可能だと思うが。

教育長　現場の先生方の資質によるところが大きいと思う。

先生方の研修機会等も増やして、しっかり教育をしていただきたいと思っている。

写真　教育の推進